

# 樹木観察

～身の回りにある樹木に親しもう～

三重県立伊勢まなび高等学校



ね  
ら  
い

- ・木に対する親近感や興味を持つ。
- ・生物多様性を実感する。
- ・人の暮らしと木の関わりを実感する。

県立伊勢まなび高等学校では「午前の部 理科実験」の授業において、樹木医である講師の指導のもと、校庭にある木を使い樹木観察を行いました。

実際に樹木に触れながら皆で見て回り、葉っぱの表面の毛は空気中の水分をためて露を自分のところへ落とすためについていることなど、植物の体の機能や仕組みについてや、実の色が変わるのは鳥からよく見えるようにするためであり、糞とともに種を散布してもらうことなど、様々な生物との密接な関わりについて学びました。

この授業を通して、校庭の身近な木に親しみながら、木や木と生物との関わりについて理解を深めました。

## プログラム概要

内容	校庭の樹木観察
時間	1時間30分
場所	高校内 校庭
対象	高校2～3年生 16人
講師	森のせんせい：末良学氏
備考	「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育出前授業

